

# 令和6年度 定期の予防接種

予防接種は重篤な感染症からお子さんを守るものです。感染症に対する免疫をつけるために、ウイルスや菌・毒素の力を弱めてワクチンを作り体に接種するので、必ず健康な時に接種してください。また、「**予防接種と子どもの健康**」等を読み、ワクチンについて理解した上で接種してください。

- 自己負担金 なし（対象年齢の子ども）
- 持ち物 母子健康手帳  
予診票、健康保険証  
子ども医療費受給者証
- 実施場所 委託医療機関（裏面）

2024年10月作成

		6週	2 カ 月	3 カ 月	4 カ 月	5 カ 月	6 カ 月	8 カ 月	1 歳	2 歳	3 歳	5 歳 未 満	7 歳	9 歳	11 歳	13未 歳 満	16 歳
<b>ロタウイルス感染症</b> 1価(ロタリクス) 生後24週0日まで 5価(ロタテック) 生後32週0日まで	経口生 ワクチン	1価	①	②													
		5価	①	②	③												
		* 同じ種類のワクチンで2回あるいは3回接種 初回接種は14週6日までに接種(27日以上の間隔を置いて1価は2回接種、5価は3回接種)															
<b>B型肝炎</b> 生後12月まで	不活化 ワクチン		①	②				③									
		初回: 27日以上の間隔を置いて2回接種 3回目は1回目の接種から139日以上の間隔を置いて1回接種															
<b>小児用肺炎球菌 ※注1</b> (15・20価ワクチン) 生後2か月から生後60月	不活化 ワクチン		①	②	③					④							
		※注1 初回: 生後12月までに27日以上の間隔で3回接種 追加: 3回目の接種から60日以上あけ、生後12月～15月に1回接種															
<b>五種混合</b> (ジフテリア・百日せき・破傷風・ ヒブ・ポリオ) 生後2か月から生後90月	不活化 ワクチン		①	②	③					④					2期	⑤	
		初回: 20日以上の間隔で3回接種 追加: 初回3回目終了後6月～18月までの間隔を置いて1回接種 二種混合を1回接種(11歳以上13歳未満) (ジフテリア・破傷風)															
<b>BCG</b> 生後12月まで	生 ワクチン						①										
		1回接種															
<b>麻しん・風しん(MR)</b> 1期: 生後12月から生後24月 2期: 小学校就学前の1年間(年長)	生 ワクチン								1期	①					2期	②	
		1回接種 小学校就学前の1年間(年長児)に1回接種															
<b>水痘 ※注2</b> 生後12月から36月	生 ワクチン								1期	①	②						
		1回目を接種後6～12か月あけて2回目を接種															
<b>日本脳炎 ※注3</b> 1期: 生後6月から生後90月 2期: 9歳以上13歳未満	不活化 ワクチン								1期	①	②	③			2期	④	
		初回: 6日以上の間隔で2回接種 1期完了者1回接種(9歳以上13歳未満) 追加: 2回接種後、6か月以上(おおむね1年)あけて1回接種															
<b>子宮頸がんワクチン</b> 2・4・9価のいずれか ※注4 小学校6年生から高校1年生(女性)	不活化 ワクチン																①②③
		ワクチンにより接種期間が異なります。 *原則、同じ種類のワクチンを接種															

- ※ 注1 接種開始の月齢により接種回数異なります。  
開始時生後7月から1歳未満の場合は、27日以上の間隔で2回接種し、初回接種終了後60日以上あけ、1歳のお誕生日以降に1回接種、  
生後1歳から2歳未満の場合は60日以上の間隔をあけて2回接種、生後2歳以上5歳未満は1回接種する。★15価と20価のワクチンがあります。原則、20価ワクチンを4回接種します。
- ※ 注2 既に水痘にかかったことのある人は定期予防接種の対象外です。
- ※ 注3 日本脳炎の予防接種は特例措置があります。…平成19年4月1日生まれまでのお子さんは、1期及び2期の未接種分を20歳のお誕生日の前日まで定期として接種可能です。
- ※ 注4 子宮頸がんワクチンは特例措置があります。…平成9年4月2日生～平成20年4月1日生(女性)の方は、令和7年3月31日まで定期接種(公費)として接種することができます。  
★原則3回接種ですが、初回を9価のワクチンかつ15歳未満で接種した場合は、1～2回目を5月以上あければ2回接種で完了とすることができます。



※四種混合・ヒブワクチンをそれぞれ接種している場合は、原則それぞれのワクチンで接種を完了してください。  
四種混合: 生後2月から生後90月に至るまでの間に接種。1期初回を20日以上の間隔を置いて3回接種し、1期追加は1期終了後6月以上(12月から18月が標準的)あけて1回接種  
ヒブワクチン: 生後2月から生後60月に至るまでの間に接種。生後2月から生後7月までの場合は、初回接種は27日以上あけて3回接種。追加接種は、初回終了後、7月以上あけて接種。  
ただし、開始時に生後7月から1歳未満の場合は、27日以上の間隔を置いて2回接種し、2回目の接種が生後12月を超えた場合は接種は行わない。  
この場合、追加接種については初回接種終了後7月以上あけて1回接種。初回が12月に至った場合は、生後60月に至るまでに1回接種。

